

# 高周波部品事業について

専務執行役員  
植村 博之

## ターゲット市場



- TD-LTE開始⇒4G端末生産急増
- 3→5モード化で員数増加



- スマホ中心のハイエンド機種やタブレット端末の生産低調



- 新機種発売前の生産調整  
→2Qより新機種立上げ

## 市場環境

## 活動状況

リファレンスデザインによる  
刈取り、置換えの活動強化

ディスクリート製品の受注販売急増  
(SAW, TC-SAW, BAW, 積層フィルタ)

モジュール製品の新規承認取得済み  
既存モジュール製品のシェアアップ

2Q以降は主要顧客生産動向がポイント  
No.2顧客への販売拡大

モジュール製品の新規受注開始  
PAモジュール向け拡販強化

ディスクリート製品、モジュール製品  
2Qより販売拡大

## 事業戦略

- ◆ ICメーカーへの活動強化し、リファレンスシェア拡大
- ◆ 競争力あるディスクリート製品群を更に強化し、市場シェア拡大
- ◆ 小型パッケージ製品の開発、投入により、モジュールの市場シェア拡大
- ◆ 生産性改善の継続

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。  
[http://www.tdk.co.jp/ir/ir\\_events/conference/2015/1q\\_1.htm](http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2015/1q_1.htm)